

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 三笠ジオパーク

10月7日から9日まで北海道の三笠ジオパークで開催された「日本ジオパークネットワーク全国研修会」に参加してきました。

三笠市は北海道のほぼ中央（札幌、旭川から車で1時間くらい）に位置する、かつて炭鉱で栄えた、人口8,200人のまちです。約1億年前の地層からはアンモナイトの化石、約5000万年前の地層からは石炭が産出され、平成25年に日本ジオパークに認定されています。

今回の研修会は、「ジオパークを活用したブランディング」をテーマに、三笠の「モノ」「ヒト」「コト」に触れる中で、「地域ブランド」の構築やそれに向けた考え方のヒントを見出すことを目的として実施されました。

次号へつづく

例えば・・・



『アンモナイトを表現した海老フライ』と『石炭を表現したザンギ(鶏の唐揚げ)』

三笠は北海道でも有数の豪雪地帯！『大雪ポテトサラダ』

三笠は北海道で初の鉄道が敷かれた場所『車輪型シューマイ』

炭鉱労働者に愛されてきた『なんこ(馬のホルモン)』

ホタテは地中に眠る化石『地層そぼろごはん』



美 東中3年生のジオパーク・SDGsを通じた総合学習



美東中学校3年生は、ジオパークやSDGs（持続可能な開発目標）の視点から、より良い地域づくりのための企画の立案を総合学習で行っています。

まず9月上旬に、長崎県の島原半島ジオパークとインターネットでつなぎ、雲仙火山が人々にもたらす災いと恩恵について現地を紹介していただきながら、島原半島の人々が活火山の近くに暮らし続ける理由を考えました。

次に、Mine秋吉台ジオパークの大地と人々との関わりを学んだり、長登銅山まつりをSDGsの視点から振り返りました。10月からは、これまで学んだことを元に、地域づくりの企画をグループごとに考え、11月上旬にはグループごとに発表を行う予定です。

ジオガイド定例会を再開

認定ジオガイドは、ジオツアーの実施報告やガイド時の課題解決など、ジオパーク活動を協力して進めていくため、月に1回程度、定例会を行っています。今年は、コロナ禍で2月以降開催できていませんでしたが、少しずつジオツアーも再開していることから、9月17日（木）に約半年ぶりに行いました。

久しぶりに開かれた定例会では、事務局を含めた各自の近況報告と、残り6か月強となった今年度の活動計画を共有し、感染症対策を十分にとりながら、どのように活動を進めていくかについて意見交換を行いました。





9月13日に、萩往還のワンコインツアーに参加しました。「萩往還語り部の会」の岩本先生に案内していただき、佐々並町から山口市の五重塔までの約8キロのコースを歩きました。

江戸時代に参勤交代道として使われていた萩往還は幕末の頃、武士の往来道にもなりましたが、明治維新以降は、使用者が減少し廃道になりました。

昭和50年代に道が再び整備されて、1989年に国の史跡に指定され、そして1996年に文化庁選定の「歴史の道百選」に選ばれています。現在でも、江戸時代や幕末の史跡がたくさん見られます。その一部をご紹介します。



↑『国境の碑』
花崗岩の碑で、長門国と周防国との国境を示します。現在の石碑は文化5年(1808年)のものです。



↑『御駕籠場の復元』
殿様一行の休憩所。写真に見える2つの台は駕籠を降ろす台です。



←『石風呂の復元』
旅人は石を焼いて、その上に海草を敷いてその上に着物を着たままで休んでいたそうです。

『氷室』は天然の冷凍庫一の坂(山口市)は、萩往還で一番険しい勾配で、冬は雪が多く降るところです。その特徴を活かして、雪を保存する「氷室」がつけられました。室内では、雪を収集して半年ぐらい保存します。夏になったらそれを街中に運んで、売っていたそうです。

秋吉台から世界へ膨らむ想像

ジオガイド・コラムリレー
第6走者 山田 富郎



ジオガイドでカルスタースタッフの山田富郎と申します。お客様への案内業務の一つに『秋吉台のヒミツ』という、30分のジオガイドを行っています。

ガイド案内を通じてお客様とお話する中で、皆様が同じような疑問を持たれることがわかりました。

「山焼きはなぜ行われてますか?」「秋芳洞はどうやってできたのでしょうか?」「石灰岩はなぜここにあるのでしょうか?」などです。

「なぜ?」「どうやって?」にお答えできることは私自身にとっても、お客様にとっても大変楽しいひと時です。

時折、私が知らないことを質問されることがあります。「屋久島の成り立ちは海山ができたことと同じですか?」「沖永良部島の洞窟も秋芳洞と同じようにできたのですか?」。その時は「分からない」で終わらせるのではなく、美祢市の石灰岩や洞窟の成り立ちを踏まえて「想像で私はこのように思いますが、お客様はなぜだと思われますか?」と自分なりの答えを導きだした上でお聞きします。

Mine秋吉台ジオパークで学んだことは、美祢市を中心とした範囲ではありますが、他の地域で起こった自然現象とのつながりをより深く調べ、考えるようになりました。想像は秋吉台から始まり、日本全国、そして世界へと膨らんでいきます。

11 住み続けられるまちづくりを



Mine
秋吉台
ジオパーク

脳内旅行ができるよ
ヤッホーイ

